

平成 29 年 7 月 31 日

細菌性赤痢患者の発生について

1. 患者の状況及び経緯

性別等 中部厚生センター管内 男性 (50 歳代)
海外渡航歴 なし
経緯 7 月 25 日 (火) 倦怠感、発熱、嘔吐
7 月 26 日 (水) 医療機関を受診し、入院
7 月 28 日 (金) 赤痢菌 (*Shigella sonnei*) を検出
細菌性赤痢と診断
症状 入院加療中だが、快方に向かっている

2. 厚生センターの対応

- ・患者の行動調査及び患者家族等接触者の健康状況調査を実施
- ・患者自宅等の消毒を指示
- ・患者及び患者家族等に対し、衛生教育を実施

3. 細菌性赤痢患者の発生状況

(1) 富山県

平成 29 年 (本事例を含む)	2 名 (内、海外渡航者 1 名)
平成 28 年	5 名 (内、海外渡航者 0 名)
平成 27 年	1 名 (内、海外渡航者 1 名)

(2) 全国

平成 29 年 (本事例を含まない)	80 名 (7 月 25 日集計第 28 週分)
平成 28 年	121 名 (速報値)
平成 27 年	156 名

4. 予防対策の周知をお願いします

- ・手洗い消毒を徹底しましょう (調理の際、食事の際、トイレの後など)
- ・海外旅行の際は、旅行先の衛生状態について事前に調べ、十分に加熱されたものを食べましょう (サラダ、生の魚介類、カットフルーツや生のフルーツジュース等を避ける)
- ・生水や氷入りの飲料は避けましょう
(氷は生水から作られていることがあります。現地の水道水は沸騰させてから利用するようにしましょう)
- ・帰国後、下痢等の症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けましょう
(帰国時に発熱や下痢等の症状がある場合には検疫所にご相談ください)

※海外に旅行される方は、海外渡航者向け感染症情報が役に立ちます。

厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ <http://www.forth.go.jp/index.html>

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。